

インフルエンザ情報 第 14 週 2012 年 4 月 2 日 ~ 4 月 8 日

岡山県は、『インフルエンザ注意報』発令中です。

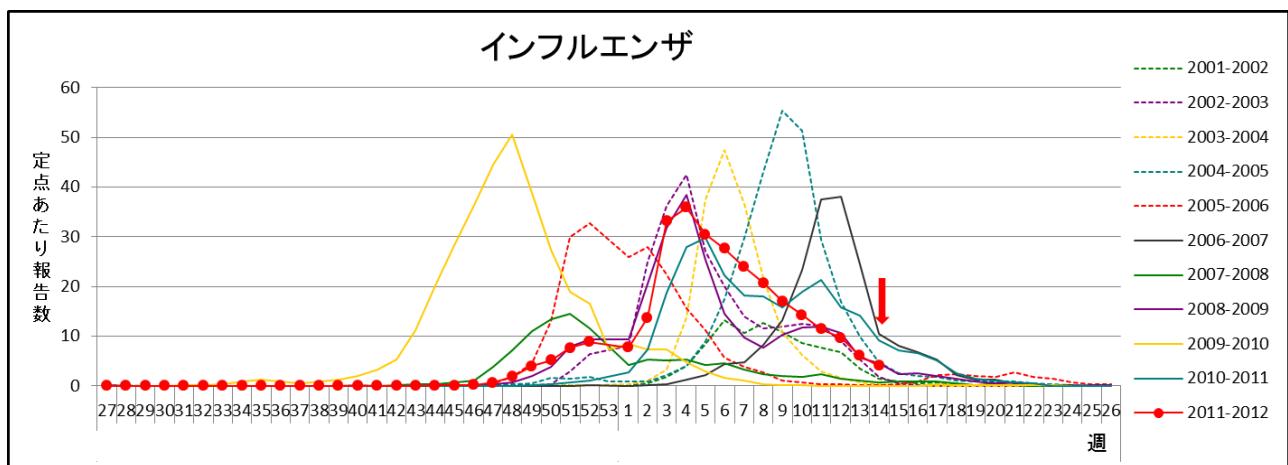
➤ 岡山県の流行状況

○岡山県内の患者報告数は 344 名（定点あたり 4.10 人）となり、前週より減少しました。

○インフルエンザによる入院患者が、1 名ありました。

【第 15 週 速報】○インフルエンザとみられる臨時休業が、2 施設でありました（4 月 12 日）。

美咲町 小学校 1 、津山市 高等学校 1



※ インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週 ~ 今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

インフルエンザ患者数は 344 名（84 定点医療機関 定点あたり 4.10 人）となり、前週（516 名 定点あたり 6.14 人）より減少しました。地域別では、美作地域（7.90 人）、倉敷市（5.38 人）、備前地域（4.67 人）、岡山市（3.05 人）、備中地域（2.25 人）、真庭地域（2.00 人）備北地域（1.50 人）の報告があり、真庭地域で患者が増加したものの、県内ほとんどの地域で前週より減少しました。

流行のピークは過ぎ、患者は減少してきているものの、依然として患者発生はつづいています。岡山県は今後も流行が継続する可能性が考えられることから、ひきつづき「インフルエンザ注意報」を発令し、注意喚起を図っています。

現在流行しているインフルエンザウイルスは B 型が中心であり、例年、B 型は 4 月頃まで流行がみられます。『手洗い・うがいを徹底する。』『咳エチケットを心がける。』など、感染予防に努めてください。また、症状のある方は早めに医療機関を受診しましょう。

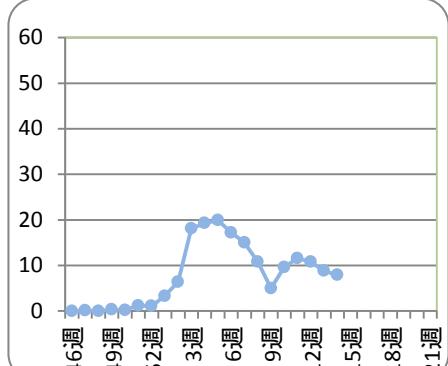
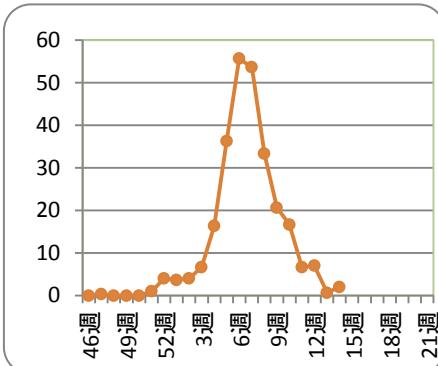
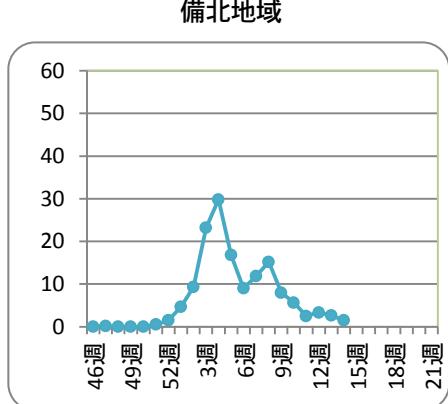
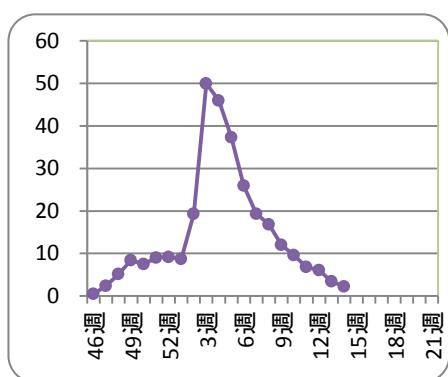
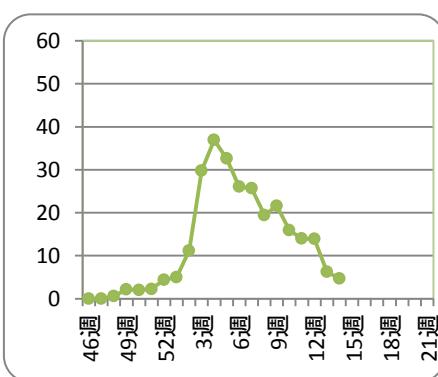
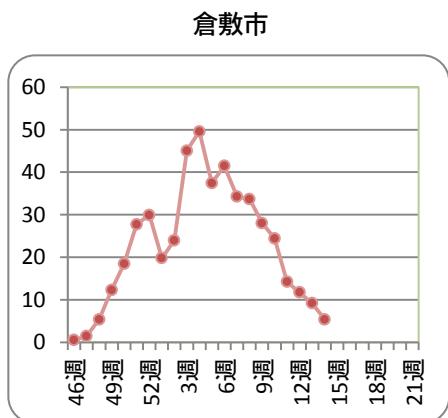
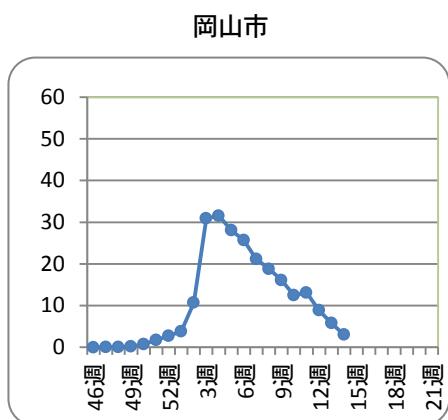
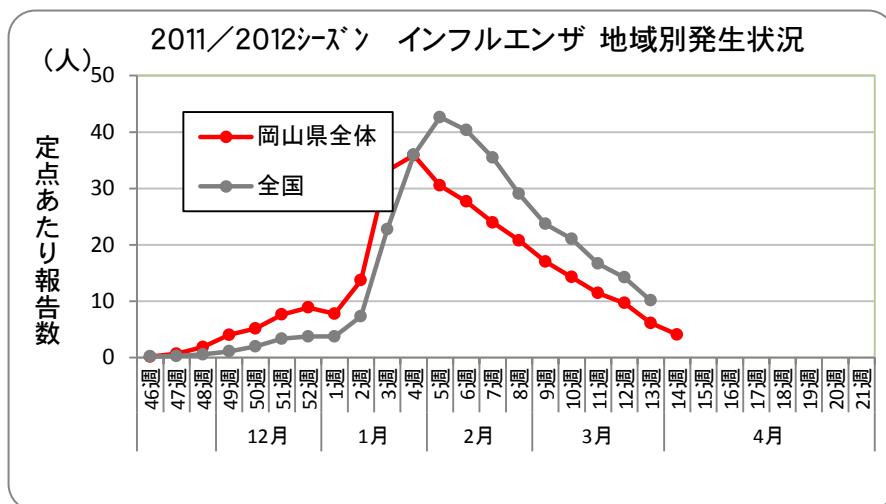
[○全国のインフルエンザ発生状況（国立感染症情報センター）](#)

1. 地域別発生状況

第14週(4/2~4/8) 前週からの推移(単位:人)

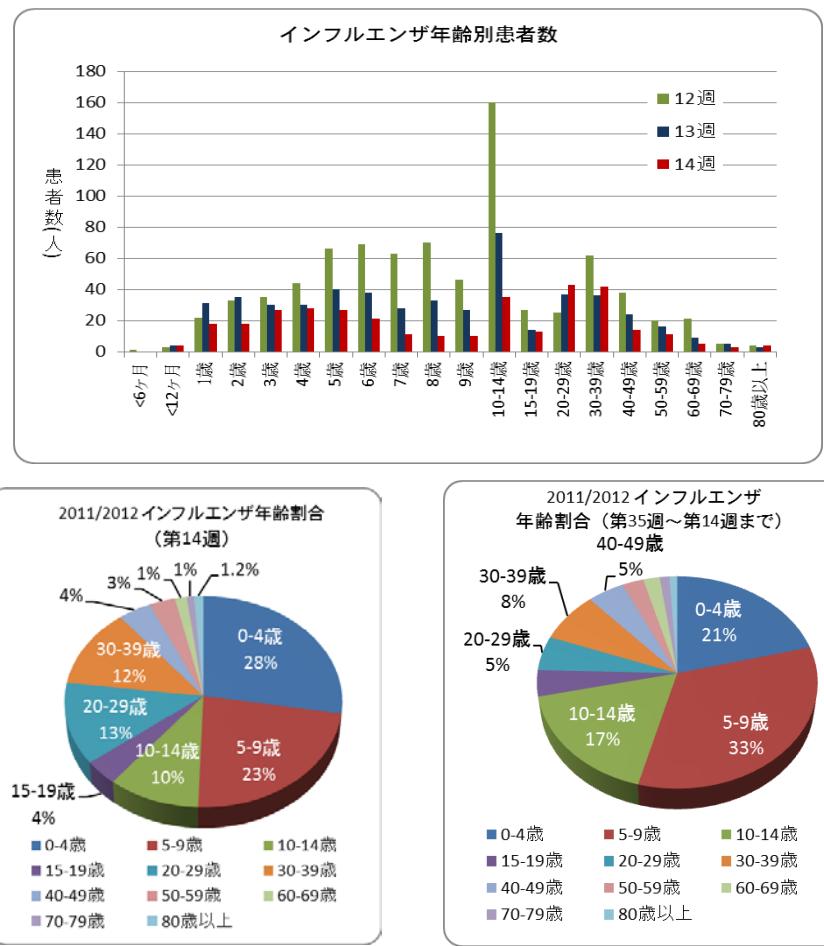
地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	344	↓	備中	患者数	27	↓
	定点あたり	4.10	↑		定点あたり	2.25	↑
岡山市	患者数	67	↓	備北	患者数	9	↓
	定点あたり	3.05	↑		定点あたり	1.50	↑
倉敷市	患者数	86	↓	真庭	患者数	6	↑
	定点あたり	5.38	↑		定点あたり	2.00	↑
備前	患者数	70	↓	美作	患者数	79	↑
	定点あたり	4.67	↑		定点あたり	7.90	↑

【記号の説明】 前週からの推移 :
 ↓ 2倍以上の減少 ↓ 1.1~2倍未満の減少 → 1.1未満の増減
 ↗ 1.1~2倍未満の増加 ↑ 2倍以上の増加



2. 年齢別患者発生状況 第14週 (4/2~4/8)

第14週、患者の年齢割合は0-4歳が28%で最も多く、5-9歳が全体の23%、20-29歳が13%の順でした。患者の中心は、0-5歳の低年齢層ですが、今週は20代・30代で患者の増加が見られます。



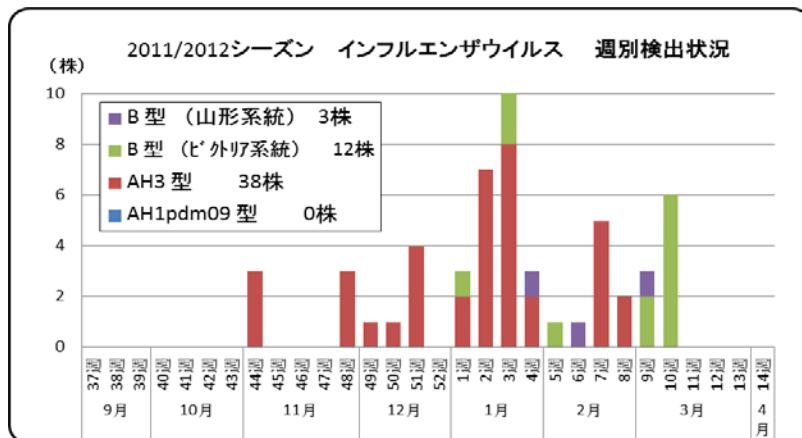
➤ インフルエンザウイルス検出状況 第14週 (4/2~4/8)

第14週、当センターで検出されたインフルエンザウイルスは、第10週に採取された岡山市の散発事例から、B型（ピクトリア系統）が3株検出されました。

今シーズン県内では、AH3型が38株、B型（ピクトリア系統）が12株、B型（山形系統）が3株検出されており、3月以降検出されたウイルスは全てB型でした。

これまで全国で検出されたインフルエンザウイルスの累計は、AH3型の割合が最も多く80.1%、B型が19.7%、AH1 pdm09型が0.2%の順になっています。AH3型が主流でしたが、現在検出されているウイルスの多くはB型です。 ([国立感染症情報センター インフルエンザウイルス分離・検出速報 2011/2012シーズン](#))

ウイルス名	検体採取週	検体採取日	地域	年齢	性別	備考
インフルエンザウイルスB型	第10週	2012年3月6日	岡山市	小学生	女	ピクトリア系統
インフルエンザウイルスB型	第10週	2012年3月6日	岡山市	小学生	女	ピクトリア系統
インフルエンザウイルスB型	第10週	2012年3月7日	岡山市	小学生	男	ピクトリア系統

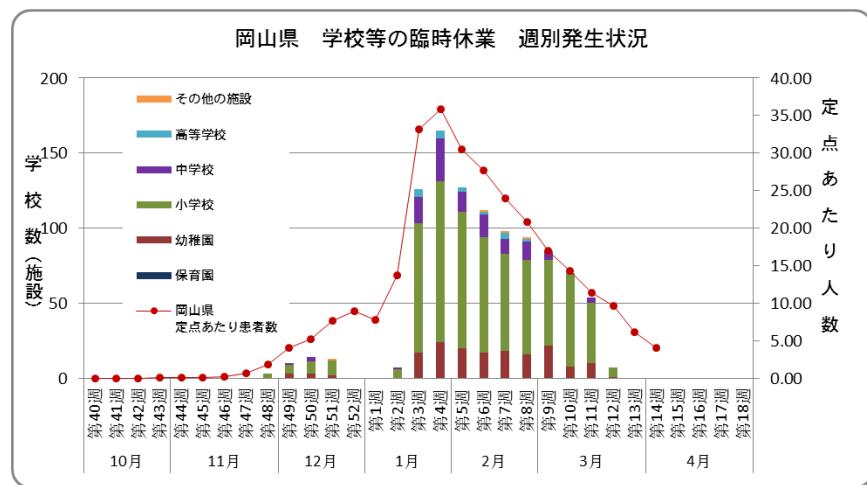


➤ インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数 14週 (4/2~4/8)

第14週、学校等の臨時休業はありませんでした。

第14週までの合計は、有症者数15,427名、うち欠席者数11,298名、施設数はのべ986施設になりました。

[岡山県 インフルエンザとみられる臨時休業 \(健康推進課ホームページ\)](#)



1. 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

【第14週】

* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

地域名*	有症者数		うち 欠席者数		施設数合計		休園・ 休校数		学年閉鎖 施設数		学級閉鎖 施設数		初発 年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	0	15,427	0	11,298	0	986	0	40	0	283	0	663	H23. 10. 31
岡山市	0	6,582	0	4,595	0	385	0	4	0	66	0	315	H23. 12. 15
倉敷市	0	3,684	0	2,756	0	219	0	7	0	39	0	173	H23. 10. 31
備前地域	0	1,945	0	1,571	0	146	0	6	0	67	0	73	H23. 12. 5
備中地域	0	1,401	0	1,175	0	115	0	10	0	46	0	59	H23. 11. 30
備北地域	0	313	0	227	0	29	0	3	0	12	0	14	H24. 1. 16
真庭地域	0	537	0	341	0	33	0	7	0	22	0	4	H24. 1. 13
美作地域	0	965	0	633	0	59	0	3	0	31	0	25	H24. 1. 16

2. 臨時休業施設数の内訳 第14週 (4/2~4/8)

第14週：0施設

累計：986施設

	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	—	—	—	161	—	688	—	111	—	22	—	4

➤ 入院時の状況と年齢別内訳 第14週 (4/2~4/8) (県内基幹定点 5 医療機関による報告)

第14週、インフルエンザによる入院患者が1名（60代）ありました。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがあり、また乳幼児ではまれに脳症を起こすことがありますので、早めに医療機関を受診しましょう。

【第14週 入院患者数】

年齢	1歳未満	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	計*
入院患者数										1			
ICU 入室													
人工呼吸器の利用													
頭部 CT 検査(予定含)													
部 MRI 検査(予定含)													
脳波検査(予定含)													
いずれにも該当せず										1			

【平成23年9月5日以降に入院した各患者の累計数】

*重複あり

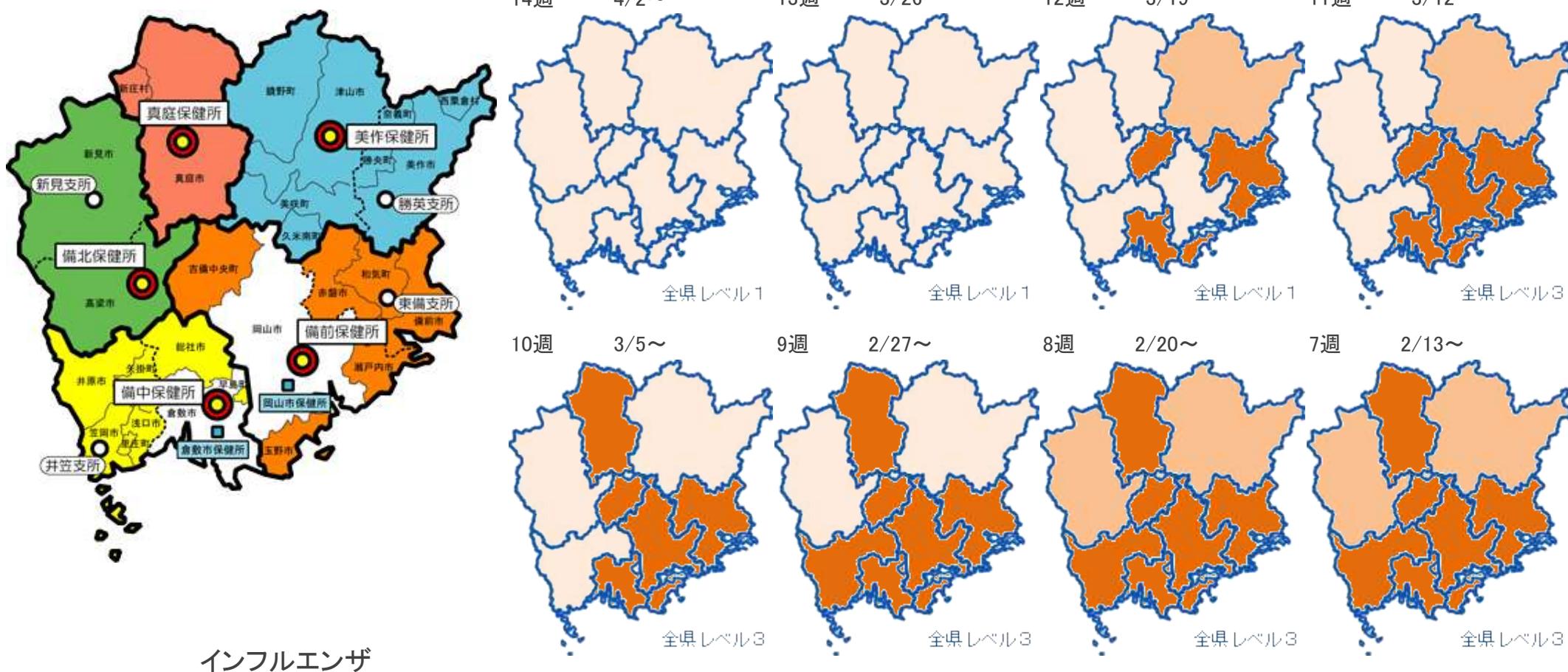
年齢	1歳未満	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	計*
入院患者数	10	21	13	3	1	1	2	1		6	13	21	92
ICU 入室										1	2		3
人工呼吸器の利用											1		1
頭部 CT 検査(予定含)	1	7	4	1	1						4	2	20
頭部 MRI 検査(予定含)	1	3									3	1	8
脳波検査(予定含)	1	6	1								3	1	12
いずれにも該当せず	9	12	9	2		1	2	1		5	7	19	67



岡山県地区別 インフルエンザ感染症マップ 2012年 14週

2012年4月11日

16:26:02



インフルエンザ

レベル3	レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満
			0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。